

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート 95 号』

「2024 年年間統計」

森永乳業は、育児における実態や意見などをまとめたレポートを、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」として発行しています。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は 1975 年 5 月に開設され、2025 年 5 月で 50 年を迎えます。2024 年は、相談対象のお子さまが 1 歳以上の幼児が多くなったためか、入園前の保護者の不安や入園後の行き渋りなどその時期ならではの相談が寄せられました。今回は 2024 年の年間統計をもとに、育児に関する傾向をレポートします。

【主な統計結果】

- 2024 年相談件数は 5,328 件、1 ヶ月平均は 444 件。1 通話の平均時間は 19 分 09 秒と過去最長。再相談が新規相談を上回る傾向はさらに拡大。
- 認知経路は、「インターネット検索」が 62.8%と最多。「友人・知人」からの口コミが 12%と伸びをみせている。
- 相談対象年齢は、1 歳以上が全体の 68.9%と 7 割近くを占めている。
- 相談内容は、「相談者自身」が昨年に引き続きトップ。

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象	妊娠中～小学校就学前まで
相談員数	13 名(管理栄養士、保育士など)
ウェブサイト	http://www.angel110.jp/

エンゼル 110 番ウェブサイト <http://www.angel110.jp/>

エンゼル 110 番レポート 95 号

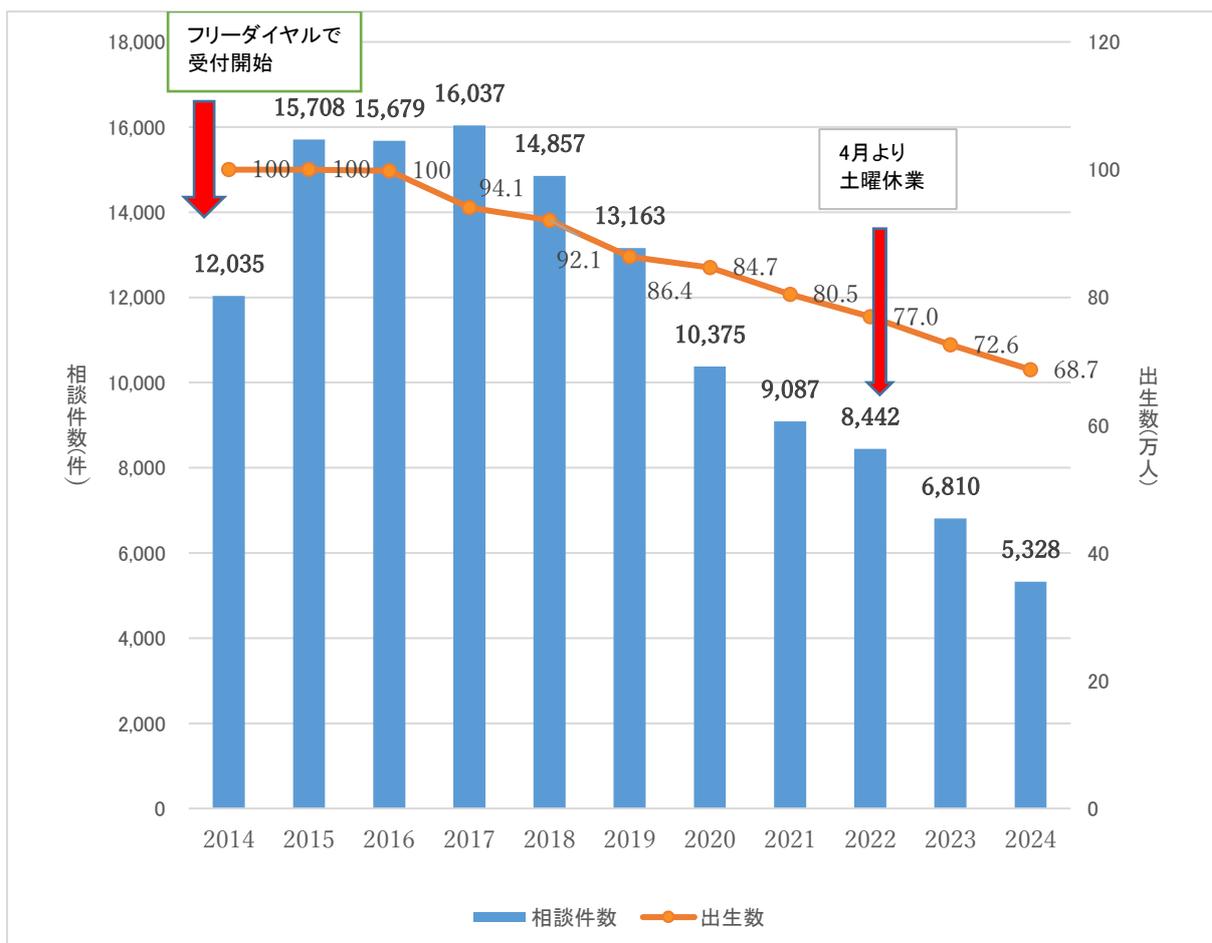
今回のテーマ「2024 年 年間統計」

相談件数は減少傾向。1 件当たりの相談時間は 19 分 09 秒と過去最長。

2024 年、エンゼル 110 番で受けた相談件数は 5,328 件です。(図 1) 1 ヶ月平均では 444 件、1 日当たりでは 22.2 件でした。

1 件当たりの平均相談時間は 19 分 09 秒と昨年の 18 分 26 秒からさらに長くなっています。相談数は減っていますが、相談時間は伸びており、1 時間を超えるケースも珍しくありません。月別相談件数は新生活のはじまる 4 月、運動会、遠足、発表会などの保育園や幼稚園での行事が多くなる 10 月に増加しました。(図 2) また、2020 年に初めて再相談件数が新規相談件数を上回りましたが、年々その差は開き、2024 年には再相談件数 3,552 件(66.7%)、新規相談件数 1,776 件(33.3%)となりました。(図 3)

図 1 相談件数と出生数(2014～2024 年)



出生数参考: 政府統計の総合窓口(e-Stat)人口動態調査

図2 月別相談件数(2024年)

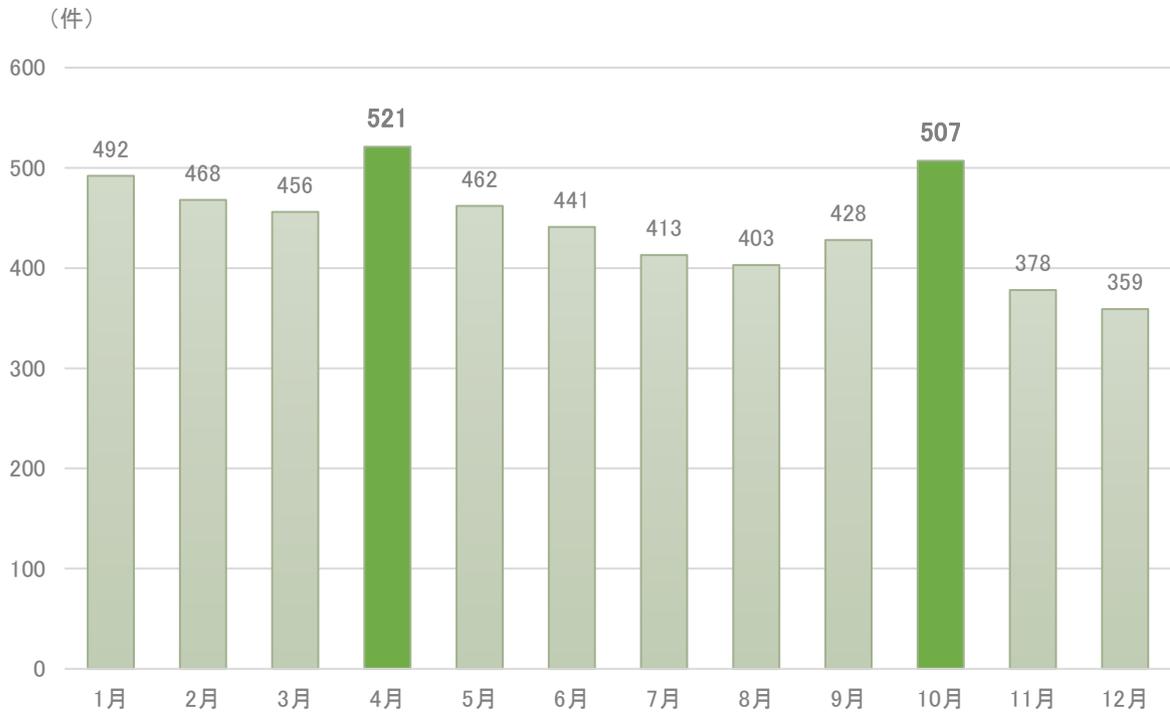
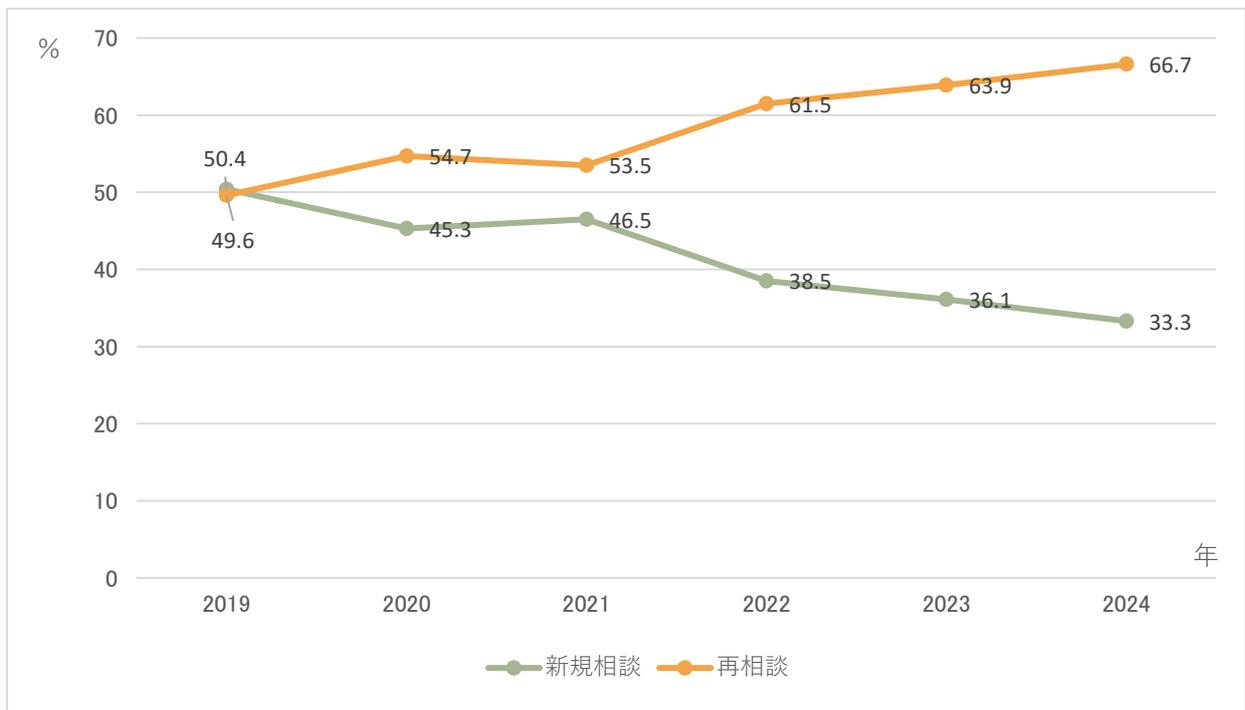


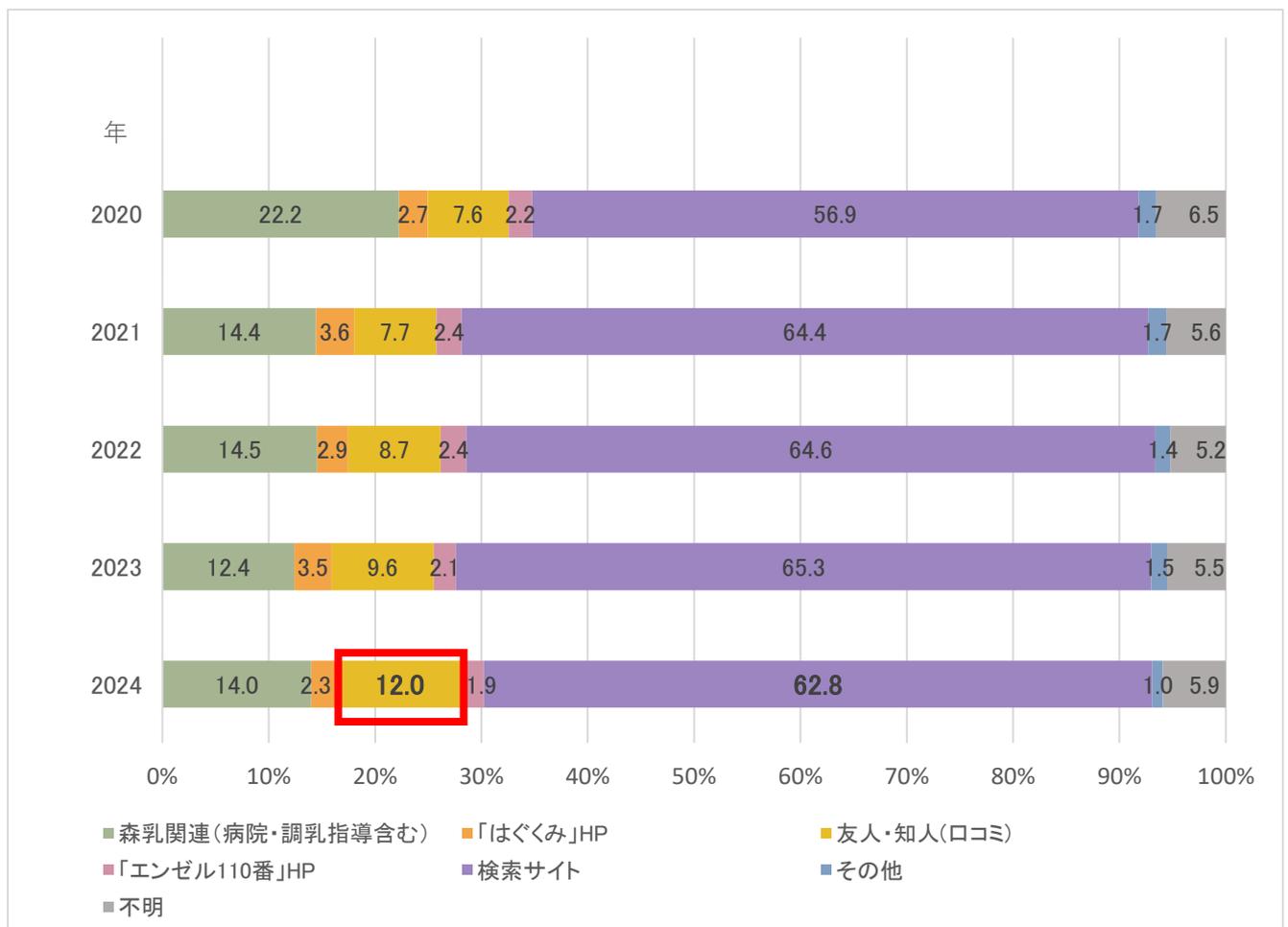
図3 新規相談と再相談の割合(2019~2024年) N=5,328(2024年)



認知経路は、インターネットで『無料育児相談』と検索が 62.8%

エンゼル 110 番の認知経路としては、「検索サイトなど」が最も多く 62.8%を占めました。(図 4)インターネットでの検索が 2018 年から常に 1 位になっています。その中で「友人・知人」からの口コミは昨年 9.6%でしたが、2024 年は 12%と一割を超えました。実際に利用された方から「『使ってみてほしい』『よく話を聞いてくれる』とおすすめされて電話をかけました」とコメントをいただいております、じわじわと口コミが増えているようです。

図 4 認知経路 (2020~2024 年) N=5,328(2024 年)



ママからの相談が 95.2%を占めるも、パパからの相談も定着傾向

相談者は 95.2%がママで、そのうち 30 歳代が 56.4%と半数以上になっています。(図 5、6)

また、パパからの相談は 118 件と全体の 2.2%です。パパからの相談の記録を取り始めた 2004 年 (0.6%)と比較すると 3.7 倍に増えました。(図 7) 育児休暇・育児休業中のパパからの相談は定着傾向にあり、またお仕事の休憩中に相談をされるパパもいます。事細かにお子さんの状態をお話される様子から、積極的に育児に取り組んでいることが伺えます。おばあちゃんからは「昔、子育てしているときにエンゼル 110 番を使ったことがある。今回は孫のことで相談したい」と利用されるケースがありました。

図 5 相談者の属性(左:2004 年、右:2024 年) N=5,328(2024 年)

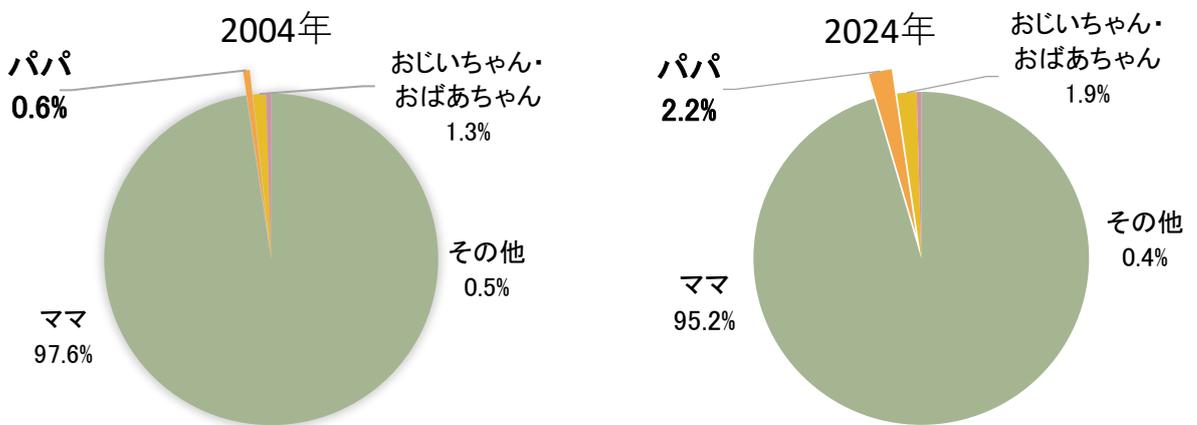


図 6 ママの年齢推移(2020~2024 年) N=5,091(2024 年)

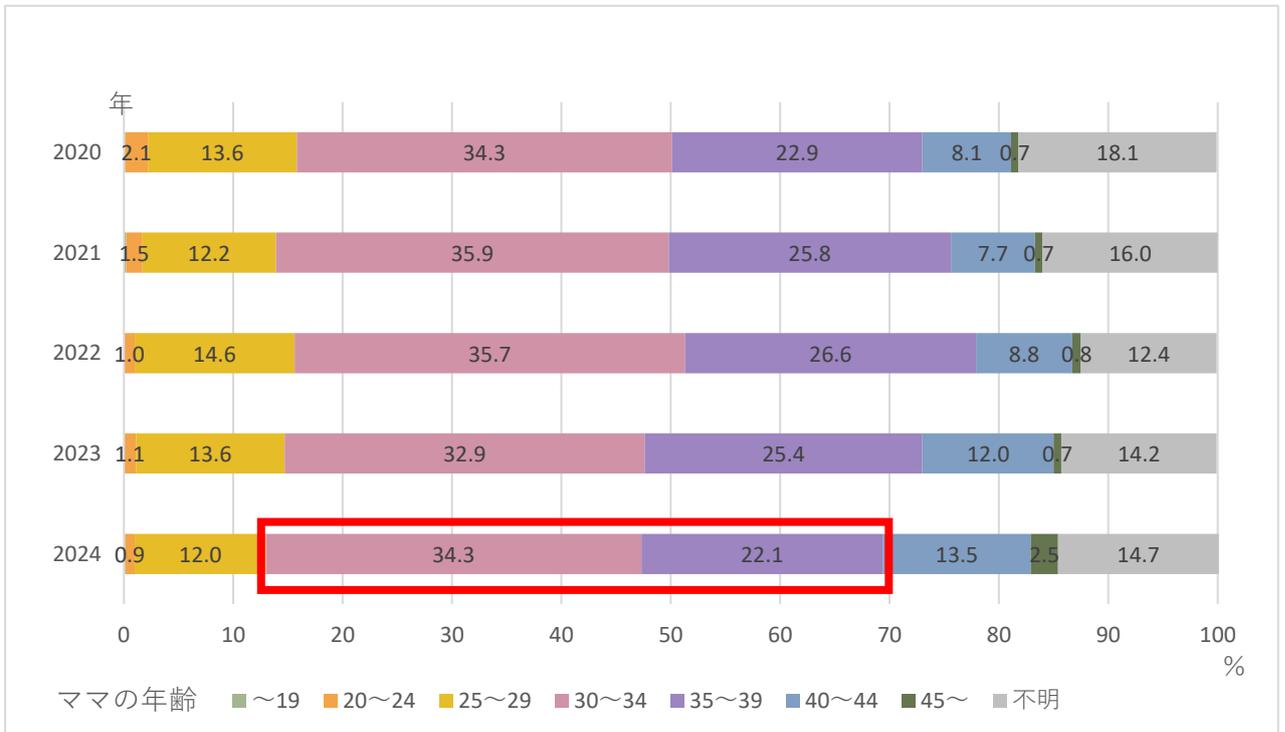
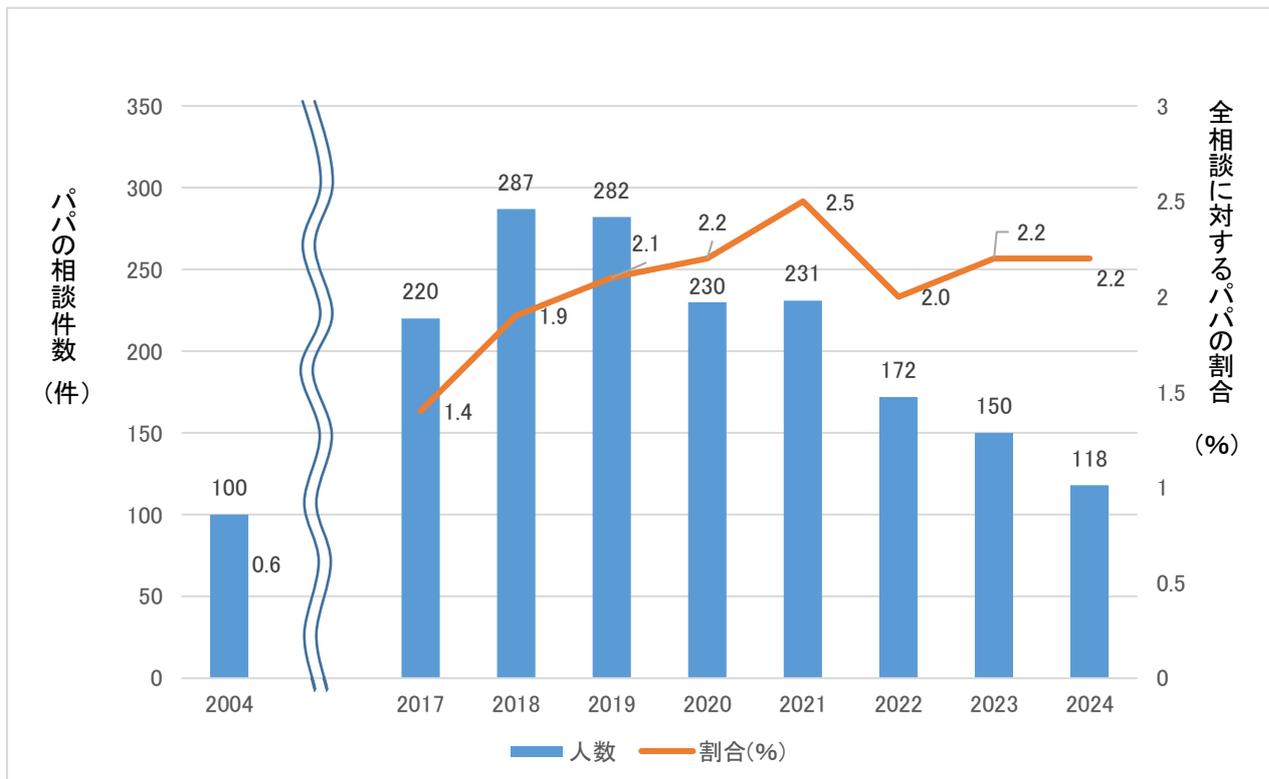


図7 パパからの相談件数と割合(2004~2024年)



■ パパからの相談例

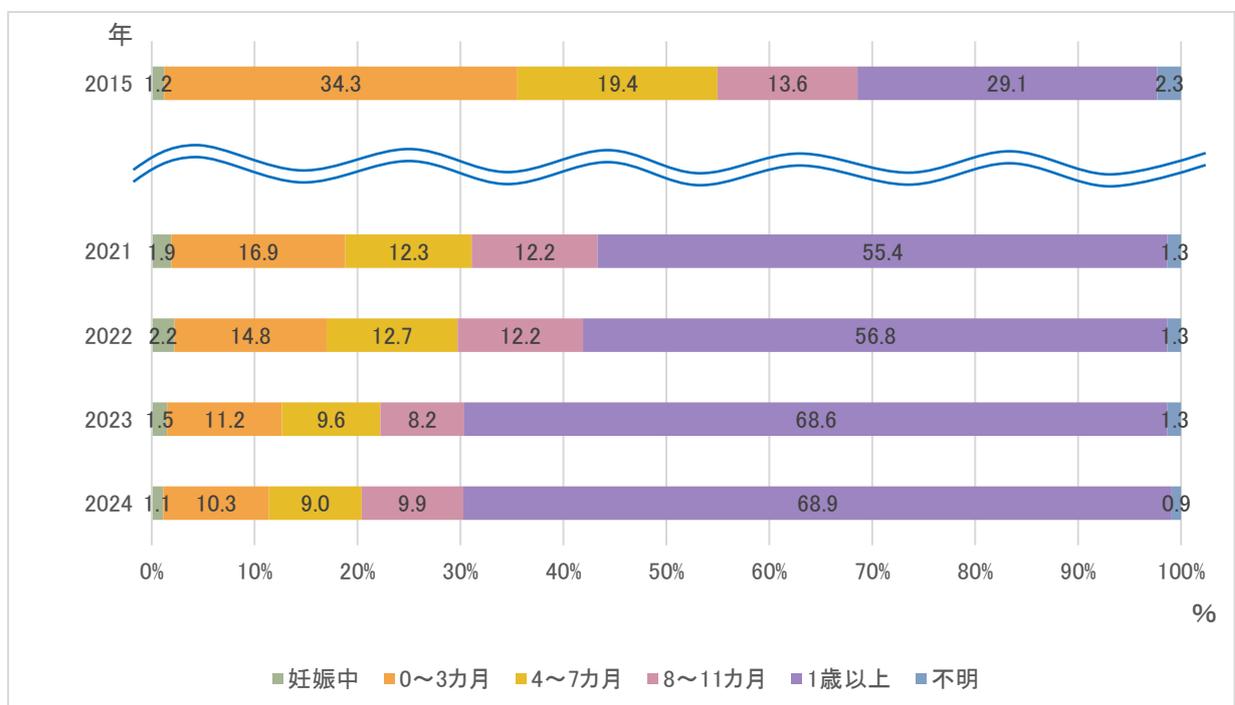
※()は、相談対象の子どもの月齢・年齢

- 男性も育児参加という割に、子育ては社会全体で女性優位。今1歳2カ月の子育てを担当しているが、ベビー室でオムツ替えやミルクの調乳もできなくて困る。(1歳2カ月)
- 熱湯を使わずに湯冷まして作ったミルクを与えてしまった。赤ちゃんに影響はないか?(0カ月)
- 家で掃除、洗濯、お風呂掃除などはやっているが、妻のメンタルが限界なようでイライラされてしまう。受け止めきれない。(6カ月)
- 妻は今妊娠中。引っ越しを考えているが赤ちゃんと一緒に暮らしたことがないので、どんな部屋がよいかわからない。赤ちゃんは大人のベッドと一緒に寝ると、ベビーベッドとどちらがよいか?(妊娠)
- 4月から保育園。トイレトレーニングの進め方のアドバイスが欲しい。(3歳1カ月)
- 自分のことで気になる症状がある。目覚めたあと頭がフワフワするし、ボーっとして判断力が落ちている。調べるとパタニティブルーに当てはまるような気がする。(1カ月)
- 沐浴で赤ちゃんをうつぶせの状態にして洗ったら、顔がお湯につかってしまった。すぐに気が付いて抱き上げ、今は元気になっている。妻は「心配ないよ」と言ってくれたが心配。(0カ月)
- 先週下の子が生まれた。下の子より上の子の世話が大変だと妻に打ち明けられた。夫婦ともに頼る親がいないので2人でどうにかしないといけない。1歳10カ月の子どもを預けたい。(1歳10カ月0カ月)

相談対象の子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が7割近く

相談対象の子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が68.9%と7割に迫っています。対して月齢0～3カ月までの低月齢の相談が10.3%と開設以来最も少なくなりました。開設から2015年までの40年間はこの0～3カ月までが毎年全体の3分の1を占めトップでした。2015年を境に0～3カ月の相談の減少が続いています。一方で1歳以上の相談は年々増加していて、2024年も前年同様に7割近くを占めています。低月齢の相談が減っているのは、スマートフォン等のデバイスを使って低月齢の相談に多くあった、粉ミルクの作り方や育児に関する基礎知識が簡単に調べられることが影響していると思われます。(図8)

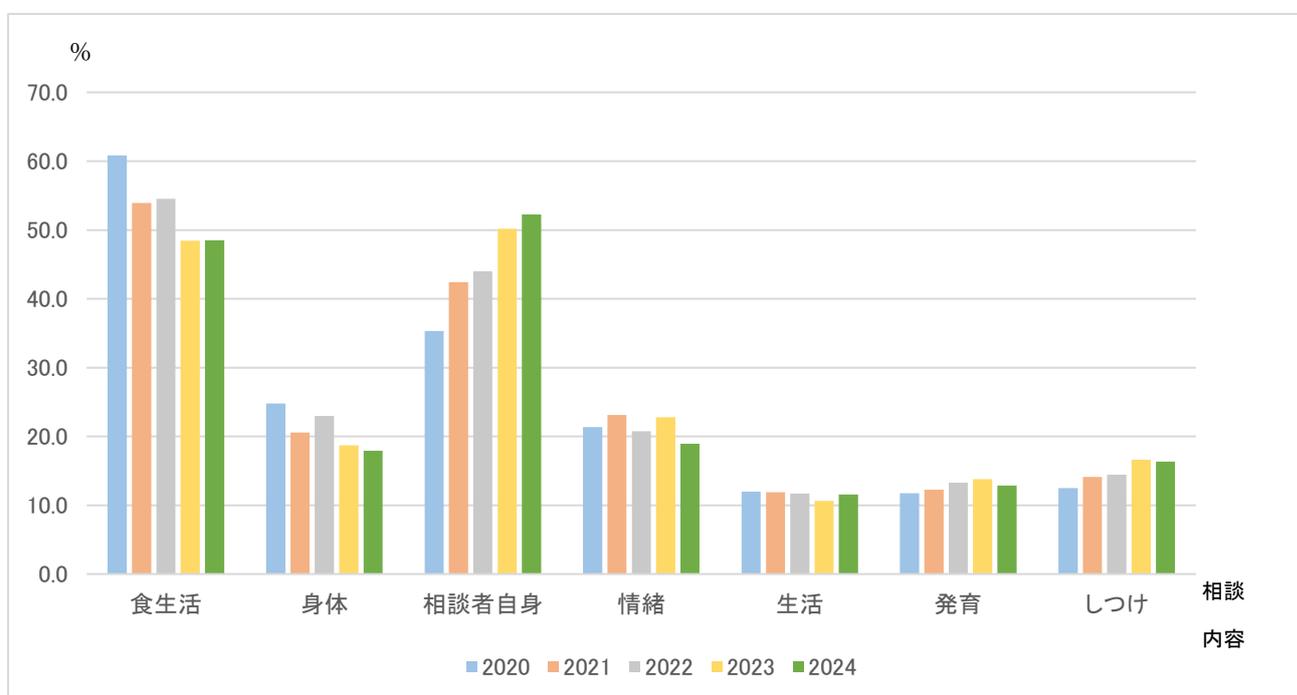
図8 子どもの月齢・年齢の割合の推移(2015年、2021～2024年) N=5,328(2024年)



相談内容は「相談者自身」が 28.3%と昨年より引き続きトップに

相談内容は、昨年に続き「相談者自身」が1位、「食生活」が2位になりました。再相談で自分自身のお話をされる方の影響が垣間見えます。(図9)「ママ友や地域では話しづらい」「どこで話してよいかわからない」と相談先を探している様子も会話から伺われます。インターネットで検索をすれば子育てに関わる一般的なやり方はみつかりますが、その根底にある子育てされる方自身の不安な気持ちまでは解消されていないようにも感じます。

図9 相談内容の割合の推移(2020~2024年) N=5,328(2024年)



■2024年の相談事例

※()は、相談対象の子どもからみた相談者の続柄、相談対象の子どもの月年齢

- 上の子のときの卵のすすめ方は「慎重にすすめて」と説明を受けた。下の子の離乳食を始めるのに最近の離乳食の本を読んだら、与える時期が早くなり量も他の食材と変わらないので驚いた。(母 5カ月)
- ようやくひらがなに興味をもち、「ま」を覚えて「ママのま！」と言ってくれてうれしい。(母 4歳11カ月)
- 4月より保育園に入園予定。食べムラがあるのは母乳を与えているからか。保健師さんは卒乳でもよいと言われたが断乳した方がよいか迷う。(母 1歳8カ月)
- 動画サイトを見る前は「10分ね、時計の針がここまできたらね」と約束するが、止まらず発狂したようになるので困っている。どうしたら決まりを守ることができるのか。(母 5歳10カ月)
- 慣らし保育中。朝保育園で別れるときすごい力でしがみつき泣かれるが、迎えに行くとあっさりしている。ママとしては感動の再会を期待していたのに違うことに戸惑いがある。(母 1歳5カ月)
- 暑くなる時期、外遊びできる外気温は何度くらいまで？時間はどれくらいか？(母 1歳9カ月)
- 来年4月に年中での入園予定。トイレトレーニングがこじれにこじれ、まだおむつが外れない。焦ってしまう。(母 4歳)
- 1歳前の孫にはちみつとみかんを混ぜたヨーグルトを与えた。症状はないか受診した方がよいか？(祖母 9カ月)
- 明日運動会で、子どもはリレーのアンカーをやることになっている。張り切りつつもプレッシャーがある様子。どんな声をかけてあげたらよい？(母 5歳11カ月)
- 子どもが幼稚園の発表会で主役をやった。舞台度胸もあり輝いていた。うれしくてたまらない。他では言えないのでここで自慢させてほしい。(母 5歳)
- 幼稚園選びで悩んでいる。近所で保護者の負担も軽く給食が週に3回の園と、2キロ離れているが教育が充実していて経済的にも保護者にも負担がある園。パパは「近い方がママの負担が軽いんじゃないか」と言っている。(母 2歳10カ月)
- 行き渋り。好きだった先生が2人ともやめてから朝「行きたくない」と泣く。そろそろ1カ月なのでどうしたらよい？また以前のように登園できるだろうか。(母 5歳3カ月)

まとめ

2024年の相談件数は減少傾向ですが、1件当たりの通話時間は長くなっています。スマートフォンひとつで育児にかかわることも簡単に調べられますが、そうでないことを「聞いてほしい」「共感してほしい」という思いが通話時間の長さにつながっているように感じます。複数回利用されている方からは、「励ましが欲しくて電話した」「今後の見通しや基準を教えてもらったり、存在そのものを認めてあげることが大切だと聞いて、自分の中に安心感が生まれてきた」といったお声をいただきました。

2024年はコロナ禍であったような「幼稚園のママ友から遊びに行く誘いを受けたが、自粛期間に出かけるのはどうか」「園でクラスは違うが、新型コロナに感染した子がいるらしい。発表会が近いが、うちは喘息の持病も

あるので登園させたくない」といった迷いの相談は減り、率直にイベントや行事を楽しんでいる様子が伺えました。春には「4月から小学生。小学校が和式トイレなのでひとりのできるようにしたい」「入園を控えていてミルクの量と間隔をどうしてよいかわからない」「転園した先の園で子どもが一言も話さない。将来もこのままだったら、不安」という新しい環境に対する相談があり、夏から秋にかけては「2学期の準備をしていたら、そのバッグを『嫌だ』と言って投げられた。夏休み明けに連れて行くのに気が重い」「園のハロウィンパーティーの前日に『仮装がしたい』と言い出した。間に合わないのでおもちゃを買うことで落ち着いたが、当日『お友達からどうして仮装してないの？』と言われて嫌だった』と言われてしまい反省」「帰省中の離乳食、新しい食材はどうしたらよいか？」などの季節イベントに関わる相談を受けました。毎年3月には「小学生になるのもう相談ができなくて残念。今までありがとうございました」「焦っているときもじっくり話を聞いてくれてありがとうございます。すごく育児がしやすくなりました」とお子さんが小学生になりエンゼル 110 番を卒業される方からお礼の言葉をいただきます。エンゼル 110 番開設 50 年となる 2025 年もひとりひとりのお話を丁寧に伺い、その方らしい育児のサポートができるように真摯に向き合っていきたいと思っております。

以上

エンゼル110番レポートのバックナンバー

1993年4月	第1号『離乳食』
1993年7月	第2号『初めての泊りがけ旅行』
1993年10月	第3号『胎教』
1994年1月	第4号『お年玉』
1994年5月	第5号『夫の育児参加と妻の満足度』
1994年8月	第6号『妊娠中の食事について』
1994年11月	第7号『育児雑誌を読みますか』
1995年2月	第8号『早期教育は必要ですか』
1995年5月	第9号『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』
1995年8月	第10号『どんな出産をしましたか』
1995年10月	開設20周年記念冊子『60万件の電話相談から』
1996年11月	第11号『子育て費用をどう考えますか』
1996年2月	第12号『子どものことを夫婦で話し合っていますか』
1996年10月	第13号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』
1996年12月	第14号『理想の父親像と母親像』
1997年4月	第15号『子育て中のお母さんの自由時間』
1997年6月	第16号『子どもを預けたことはありますか』
1997年9月	第17号『子育て中のストレス解消法』
1997年12月	第18号『かかりつけのお医者選び』
1998年4月	第19号『“格好いいお母さん”が当たり前?』
1998年6月	第20号『35歳からの子育て』
1998年9月	第21号『これからはママもパソコン使います』
1998年12月	第22号『35歳からの子育て パートⅡ』
1999年3月	第23号『実家とどうつきあっていますか』
1999年6月	第24号『子どものアレルギーについて』

1999年9月	第25号『子ども連れのお母さんが見た街作り』
1999年12月	第26号『子育てが楽しいと感じる時』
2000年3月	第27号『離乳食は得意ですか』
2000年6月	第28号『子育て仲間はどこで見つけましたか?』
2000年9月	第29号『子連れで海外旅行に行きましたか?』
2000年10月	開設25周年記念冊子『医療関係者向アドバイスブック』
2000年12月	第30号『私たちのミレニアム・ベビー』
2001年3月	第31号『ママたちのIT革命』
2001年6月	第32号『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか?』
2001年9月	第33号『妊娠してからの食生活の変化』
2001年12月	第34号『絵本の読み聞かせをしていますか』
2002年3月	第35号『育児日記をつけていますか』
2002年6月	第36号『ママたちの再就職事情』
2002年9月	第37号『テレビやビデオをどのように見せていますか』
2003年1月	第38号『夫の育児参加と妻の満足度(その2)』
2003年4月	第39号『子育てにインターネットを活用していますか?』
2003年7月	第40号『子育てコストとママの生活満足度』
2003年12月	第41号『ママたちの育児スタート -産後に望む支援サービス-
2004年4月	第42号『子育てママの喫煙・禁煙』
2004年9月	第43号『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
2004年11月	第44号『ママたちの産院選びと立ち合い出産の実態』
2005年3月	第45号『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか?』
2005年7月	第46号『赤ちゃんのアレルギー・気になりますか?』
2005年11月	第47号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか?』
2006年4月	第48号『子育てママの携帯電話活用法』
2006年7月	第49号『子ども連れで初めての泊りがけ旅行』
2006年11月	第50号『子どもは何人ほしい?』
2007年2月	第51号『子どもに習い事をさせますか?』
2007年8月	第52号『「3歳児神話」をしていますか?』

2008年1月	第53号『子どもを預けたことがありますか？（その2）』
2008年4月	第54号『「お母さんになったな」と初めて感じたのは？』
2008年9月	第55号『結婚前の料理経験はどれくらいですか？』
2009年1月	第56号『ここが困った！子連れ外出事情』
2009年5月	第57号『不況に負けない！ママの明るい節約術』
2009年9月	第58号『孫育て』
2009年11月	第59号『ママ友とおつきあい、どうしていますか？』
2010年5月	第60号『夕食の献立どうやって考えていますか？』
2010年8月	第61号『子育て支援で、本当にしてほしいことは？』
2010年11月	第62号『パパはイクメンですか？』
2011年2月	第63号『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
2011年5月	第64号『育児日記をつけていますか？』
2011年9月	第65号『ママたちの節電対策』
2012年1月	第66号『今、大切にしたいもの』
2012年6月	第67号『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
2012年11月	第68号『子育てママのお正月』
2013年3月	第69号『名づけ』
2014年4月	第70号『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか？』
2014年12月	第71号『母乳への意識』
2015年4月	第72号『現代のママ事情』
2015年7月	第73号『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
2015年9月	第74号『子育てしやすい街の条件』
2015年11月	第75号『働くママの気持ちと職場の理解』
2016年6月	第76号『ママたちが活用しているアプリは？』
2017年1月	第77号『結婚前の料理経験はどのくらいですか？』
2017年7月	第78号『なぜ、今「電話相談」なのか』
2017年11月	第79号『ママたちのストレスとその解消法』
2018年3月	第80号『2017年 年間統計』
2018年8月	第81号『ママたちの育児スタートは？』

2019年2月	第82号『2018年 年間統計』
2019年10月	第83号『ここが困った！子連れ外出事情』
2020年3月	第84号『2019年 年間統計』
2020年7月	第85号『コロナ禍で寄せられたママたちの不安と悩み』
2020年10月	第86号『離乳食一昔と今 ～変わったこと・変わらなかったこと～』
2021年3月	第87号『2020年 年間統計』
2021年11月	第88号『おうち時間の過ごし方』
2022年2月	第89号『2021年 年間統計』
2023年3月	第90号『2022年 年間統計』
2023年10月	第91号『アフターコロナの子育てや生活について』
2024年2月	第92号『子育て支援で求めるもの』
2024年3月	第93号『2023年 年間統計』
2024年9月	第94号『おすすめしたい「推し」育児グッズ』